

子どもが病気！仕事は休めない！どうする？！ ～病児・病後児保育～

12月議会で
質問！

■「病児・病後児保育」とはなんだ？！

仕事をしながら子育てをしている父親・母親が、最もピンチな状況とは？ もちろん山ほどありますが、1つは子どもが病気になった時ではないでしょうか。勿論ついていてやりたいが仕事は簡単に休めない、保育所は預かってくれない…私自身も何度ピンチに陥ったことか。

そんな時、頼りになる取り組みが「**病児・病後児保育**」です。

●**病児保育**：病気中の子どもを預かる取り組み→伊丹では実施していません

●**病後児保育**：病気の回復期にある子どもを預かる取り組み→伊丹では「伊丹乳児院(北野)」「ポピンズナーサリースクール伊丹(中央)」にて実施中。

■伊丹の現状はこうだ！

この「病児・病後児保育」。伊丹ではどんな現状なのでしょう？ 結論から言えば「**がんばっているが、病児は未実施だし、病後児は使い勝手の悪さから利用人数が少ない。困っている保護者多数**」です。伊丹の病後児保育の利用件数はどれくらいと思われますか？ H24年度でのべ29件と、大変少ない。最大の理由は**使い勝手の悪さ**です。利用の際は、まず施設に空きを確認し(1ヶ所2名まで)、次に指定医院で医師の許可をもらうというプロセスが必要。時間と手間がかかります。しかし、ニーズはあるのです。次世代育成支援アンケートでは**高いニーズ**が上がっており、**実際の要望のお声**も多く聞かれます。

■ではどうすれば？ その①「病後児保育の充実」

ではどうすればよいのか。まずは現在実施している**病後児保育のテコ入れ**です。

改善点① 対象年齢の引き上げ：伊丹では対象年齢が就学前乳幼児ですが、近隣自治体(尼崎・宝塚・西宮・芦屋・三田…)では小学3年生まで。社会情勢を踏まえ、対象年齢の引き上げを。

改善点② 指定医院の検討：事前の医師診断なるプロセスは外せません。であればプロセスを工夫したい。

指定医院を施設近隣医院に変更・指定医院の複数設定・かかりつけ医の許可OKなどの検討を。

改善点③ 広報の充実：HPの充実・チラシの配布強化などを通して、より広く取り組みを知ってもらう工夫を。

■ではどうすれば？ その②「病児保育の実現」

病児保育の方は、とにかく**早期実現**を望むところ。

実施方法① 医療機関併設型：医療機関と併設する方法。病児保育はこのパターンが最もやりやすいと考える。

具体的には、(1)市立伊丹病院に併設、(2)市内小児科に併設、(3)小児科の近隣に施設を設置、の方法あり。

実施方法② 保育所併設型：保育所内に設置する方法。具体的には(1)病後児保育実施中の保育所(伊丹乳児院・ポピンズ)に設置、(2)新設の保育所に設置、(3)既存の保育所に設置、の方法あり。(1)が可能性大か？

実施方法③ 広域型：近隣他市と連携する方法。尼崎では病児2ヶ所、宝塚では病後児2ヶ所を実施中。

自治体の枠組みをこえて広域で連携することも検討していきたい。

実施方法④ 訪問型：自宅に保育者が訪問する型。近年NPO等がサービス開始中。伊丹で実施すれば先進事例に。

■いつやるの？

いつやるの？→今でしょ、です。”困っている家庭が多数存在する現状、早期に実現すべき**喫緊の課題**です。市いわく「実施中のニーズ調査を踏まえ**新しい子育て計画を策定予定。その中で。**」とのこと。それでは遅い！ ニーズ調査や新計画策定は国からの指示ゆえ異論はないも、同時進行で取り組んでいくべきです。

もちろん父親も母親も、好きで病気の子を預けたいとは願っていません。目指すところは、子どもの病気時は保護者が看護できる社会です。ただ、そこまでの社会体制がまだ構築されていない。自分自身も大変苦勞し、また悲痛な声を多く聞く現状、ひいては少子化対策のために、取り組みを進めたいと強く思っています。

「一問一答」がはじまった！ ～議会改革一歩前進～

今回の議会から、私が導入を主張していた「議員質問での“一問一答方式”」がスタート！

- これまで…**総括方式**(全部まとめて質問する→全部まとめて答弁が返ってくる)
- 今回から…**一問一答方式**(1つずつ質問する→1つずつ答弁が返ってくる)

一問一答方式のメリットは、2つあると相崎は考えます。

★**メリット① 聞いていてわかりやすい！**…これまでだと、質問も答弁もまとめて行うので、聞いてると少々わかりづらい面も。元鳥取県知事の片山善博氏は当状況を「学芸会」と例えたことも。1つずつやりとりする新方式は、単純に分かりやすくなることは間違いありません。

★**メリット② 内容を掘り下げられる！**…一問一答方式だとこんなやりとりが可能に。
例)「(議員)こう改善すべきだ」「(当局)△△なる理由により難しい」「(議員)△△はこう対応できる」「(当局)それでは××の課題が生じる」「(議員)××の対処は…」。
このように議論が深めていけるのです。

従来方式か新方式かは議員の自由選択ですが、私は迷うことなく一問一答をチョイス！
実際にやってみると…**大変面白かった**です。本会議場でのテンポの良い議論の応酬には議員としての本分を感じました。新方式は、議員の実力(知識量・理論構築力など)が如実に露呈するゆえ**議員側も覚悟が必要**。しかし今まで以上に**議論を深められる方式**だと実感しています。一問一答方式をより活かしていく所存です。

※一問一答の様子はインターネット録画配信で公開中。「伊丹市議会」で検索を！

1回目
(登壇して発言)



相崎 佐和子 議員

2回目以降
(質問席から発言)



相崎 議員

「女性・児童センター」→「男女共同参画・児童センター」に！

12月議会で
質問！

■「男女共同参画」ってなんだ？

まず確認から。「男女共同参画」とはなにか？

男女共同参画社会基本法(第2条)によると「男女が平等に政治的・経済的・社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ共に責任を担うべき社会」とあります。つまり、**男性だから女性だからという社会的性差にとらわれず、1人の人間として個性や能力を発揮できる社会を創っていこう**、というものです。

国でも県でも、そして伊丹市でも「男女共同参画を進める」としています。

■ならばセンター名を変えるべき！

伊丹市は男女共同参画を進めている→ならば「女性・児童センター」を「男女共同参画・児童センター」に名称変更すべき！というのが今回の主張です。

理由① 男女共同参画の拠点：伊丹市の第5次総合計画(市の最上位計画)には「女性・児童センターを男女共同参画の拠点とする」とハッキリ明記されています。

理由② 世界も国も方向性は男女共同参画：以前はウーマンリブといった女性地位向上の運動が主流だったが、90年代以降はジェンダーフリーとする男女の社会的性差を解消する方向性に。女性のための運動から、男女両方のための運動に変化している。

理由③ 多くの自治体が名称変更済み：全国の多くの自治体が「男女共同参画」をキーワードにした名称に変更済み。県下でも19施設中16施設が移行完了。

理由④ 男性にとって敷居が高い：男女共同参画は男性も女性も幸せにする取り組み。然るに「女性センター」なる名称ゆえ、男性に敬遠され男性利用率が低いのはもったいない。

女性・児童センター
(伊丹市HPより)



■名称の変更だけでいいのか？

こんなご意見も聞きます。「名称変更だけでいいのか？抜本的に考えねばならないのでは？」

私はまずは名称変更をと考えます。「**目的が変わっているのに看板が前のまま**」状態だと捉えています。同時に「男女共同参画の拠点はどこがベターか」は、今後検討すべきと考えます。近隣(ex宝塚・川西・西宮)は**駅近ビル内**にあり、それもまた一考。

女性問題(DV等)が未だ根深いことは充分理解しており、全力で解決していくべきと真摯に捉えています。ただそれらを解決するには、女性はもちろん男性も共に関わっていくことが大切ではないかとも考えます。

私は、男性も女性もよりよく生きていける社会＝男女共同参画を進めたい。そしてその拠点であるセンターは、「女性センター」から「男女共同参画センター」に変えたい、変えることに大きな大きな意義があると考えたのですが、みなさんいかがでしょうか。

「サワコの茶話会」～こんな様子です～

“実際に生活する市民の声が、一番基本で一番大事”がモットーの私。しかし考えてみれば、その貴重なお声を伺う場が少ない。そこで始めたのが「サワコの茶話会」です。これまで4回実施し、お陰様で1年がたちました。

そんな中「どんな様子かこのニュースでも報告してほしい」とのご意見をいただき、その通りだと納得。簡単ですが**様子を報告**させていただきます。

○様子：参加者は20名程度。可能な限りご発言いただけるよう心掛けています。

(とは言え時間に限りもあり、全員十分ご発言いただくのに毎回苦慮中)

○配分：はじめに私から議会発言などの報告、その後は基本的に自由発言です。

○意見：これまでにいただいたご意見をピックアップしてみます(ごく一部です)

・自転車安全利用条例を作ってはどうか(私もなるほどと思い、すぐに本会議にて提案。実現し、現在作成中です！)

・市立伊丹病院ががんばってほしい(市民の期待度の高さを再認識)

・発達障がい児の支援充実を(これは他の参加者から“勉強になった”とご好評いただく。

私も一層力を入れるつもり。H27年には発達支援センターも完成します。)

・議員の報酬・定数の削減を(大変盛り上がったテーマ。市民の方々の関心の高さを再確認。

議員の定数については現在、議会改革の一環で議論中です)

・自治会の強化を(高齢者から“強化したいが後継者不足”、若者から“関わりたいがキッカケがない”との声。世代間で意見交換できたのが印象的でした。)

・伊丹空港の今後はいかに(長年 神津地区に住む方から歴史を教えてください。参加していた学生は“歴史を詳しく知らなかったので感慨深かった”との感想あり。自身も空港を考えていくうえで歴史を踏まえることの大切さを再確認。)



次回開催は下記の通りです。お気軽に足を運び、普段感じていることをお話しください。心よりお待ちしております。

「サワコの茶話会」第5回

●日時：平成26年2月23日(日)14:00～16:00 ※今回は久々の日曜開催

●場所：いたみホール5階 会議室2 ●内容：12月議会の報告など ●人数：20人程度

●申込：お名前と連絡先をメールや電話で(連絡先は裏面)

※当日参加OK(人数把握のため事前連絡いただけると助かります) ※託児はありませんがお子様連れ大歓迎！

